

# 日本惑星科学会 2019年秋季講演会開催報告

河北 秀世<sup>1</sup>



図1:講演会会場(京都産業大学神山ホール).

2019 年秋季講演会は2019年10月7日(月)–10月9日(水), 京都産業大学上賀茂キャンパスにて開催されました。京都産業大学は創設者が宇宙物理学・天文学の研究者であり, 宇宙物理学, 天文学の教育・研究に力を入れております。このような地において惑星科学会秋季講演会を開催することを嬉しく思う次第です。

講演会会場には同キャンパスの神山ホールを使用いたしました。口頭発表, 総会, 学会賞記念講演には 1600 人収容可能な大ホールにて行いました。コンサートも開催可能な音響および照明設備を利用す

<sup>1</sup>京都産業大学  
kawakthd@cc.kyoto-su.ac.jp

ることができて発表者のみなさまには充実した講演ができたのではないのでしょうか。ポスター発表は大ホールに隣接した 1F ロビーにて行いました。ひどく混雑することもなく, また閑散とすることもない十分な広さでありました。

参加者として345名(うち事前参加者169名, 当日参加者176名)の方々が講演会に集われました。例年通り学部生および修士1年の未発表の学生の参加費を無料といたしました。京産大の関係教員の担当講義にて講演会のことを宣伝して頂いたので, 84名にのほる多くの方に参加いただきました。また, 会場が京産大入り口のバス乗り場に近接していたため, 通りがかりの学生の方々がポスター発表を覗いてい

きました。惑星科学のよい宣伝になったのではないかと思います。

初日の冒頭に「最優秀発表賞応募講演」(3分間の質疑込みで一人15分間口頭講演+ポスター発表)が6件ありました。その後「一般口頭講演」が3分間の質疑込みで一人12分間の発表が67件行われました。さらに、107件のポスター発表が行われ、初日夕刻のコアタイムには終了時刻まで熱心な議論がかわされました。今年も昨年の講演会にて導入された「口頭発表+ポスター発表」を企画し、38件の発表が行われました。昨年は口頭によるポスター紹介が3分で行われましたが、聞いている側からは冗長に感じられたので短くしてはどうかという意見がLOCで上がったので、試みとして今年は2分間の口頭発表時間としてみました。また、ポスター口頭発表とコアタイムの日程を同じ初日に設定しました。このためポスター発表のコアタイムの時間が短くなりました。事後のアンケートによると、この形式の発表に概ね好意的でありましたが、コアタイムを増やしたほうが良いという意見もみられました。複数セッションへの移行も含めて今後引き続き検討していく必要があると思われまます。この他に2日目に最優秀研究者賞受賞講演が2件総会の後に行われました。口頭発表者が持ち時間を守っていただけのとスムーズに入れ替わられたことで、ほぼプログラムどおりに進行することができました。また、初日に「日本の惑星探査に関する説明会：非専門家向け!」、2日目に「超小型探査機やイプシロンロケットをいかした惑星科学の新展開」に関するパネル討論会が昼休みを利用して行われました。

懇親会は2日目夜に京産大キャンパス内の並楽館4FのBABY FACE PLANET'Sにて行いました。124名(うち事前参加申し込み77名、当日申し込み47名)の多くの方に参加いただきました。開宴直後には今年のノーベル物理学賞のニュースが入り、系外惑星の発見の業績により Michel Mayor 博士と Didier Queloz 博士が受賞されたことが会場に知らされると大いに盛り上がりました。終了後は多くの方々京都の街に繰り出して引き続き交流を深められたとの話を伺いました(そのためか3日目の午前セッションの参加者の出足が鈍かったようです)。

3日目午前には NHK Eテレのサイエンス ZERO



図2:口頭発表の様子。

の取材が入りました。火星の月探査計画に関連する口頭発表2件の撮影と数名の学会会員へのインタビューが行われました。口頭発表の様子は講演会終了後の11月にサイエンスZERO『日本の“お家芸” サンプルリターン 世界初! 火星の月探査へ』の冒頭に放映されました。

講演会LOCメンバーは河北秀世、高木征弘、竹広真一、佐々木貴教、瀧川晶、安藤紘基、佐々木洋平の7名で構成しました。秋季講演会のWebコンテンツ編集作業は学会Webページ担当の北大の吉田辰哉さんに依頼しました。また、京産大と京大の大学院生に会場の設営撤収と口頭発表時の会場係をお願いしました。受付事務とポスターパネルの設置撤収等を(株)日商社に依頼しました。

他にも講演会の準備と実施に際して、多くの方のご助力をいただきました。京都産業大学からは神山ホールの無償の使用許可と資金援助を受けました。京産大理学部事務室の森さまには、京産大での各方面との折衝や会場準備、NHK取材対応など全面的にサポートしていただきました。神山ホールスタッフの中西さまには大ホールの設営と講演会当日での口頭発表時の照明とスライドのコントロールをしていただきました。前年のLOC並びに行事部会のみなさまからは多くの助言をいただき、大変助かりました。最後に、参加者のみなさまの熱心な発表と議論のおかげで無事に講演会を開催することができました。LOCを代表してお礼申し上げます。